



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 エフビー介護サービス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9220 URL <https://fb-kaigo.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)柳澤 美穂
問合せ先責任者 (役職名)経理財務部長 (氏名)二之宮 修 (TEL)0267(88)8188
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-----|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 5,122 | 7.5 | 401 | 18.2 | 429 | 22.4 | 300 | 46.8 |
| 2023年3月期第2四半期 | 4,766 | — | 339 | — | 350 | — | 204 | — |

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 303百万円 (46.8%) 2023年3月期第2四半期 206百万円 (-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第2四半期 | 112.11 | — |
| 2023年3月期第2四半期 | 77.42 | — |

- (注) 1. 当社は2022年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期における対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年3月期第2四半期 | 9,088 | 3,287 | 36.2 |
| 2023年3月期 | 9,019 | 3,037 | 33.7 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,287百万円 2023年3月期 3,037百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期 | — | 13.00 | — | 20.00 | 33.00 |
| 2024年3月期 | — | 13.00 | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | — | — | 20.00 | 33.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-----|------|-------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,449 | 8.6 | 552 | 1.4 | 642 | △12.9 | 401 | △9.8 | 149.92 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|------------|----------|------------|
| 2024年3月期2Q | 2,676,000株 | 2023年3月期 | 2,676,000株 |
|------------|------------|----------|------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|------------|---|----------|---|
| 2024年3月期2Q | — | 2023年3月期 | — |
|------------|---|----------|---|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 2024年3月期2Q | 2,676,000株 | 2023年3月期2Q | 2,640,273株 |
|------------|------------|------------|------------|

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (企業結合等関係) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第5類感染症への移行後、経済社会活動の正常化が進みましたが、ロシアウクライナ戦争の長期化や円安の進行、資源・エネルギー及び食料品価格の上昇が続き、賃金の上昇が物価の上昇率に追いつかず、個人消費の回復に不透明感が広がりつつあります。

介護業界におきましては、高齢化率の上昇とともに、介護サービスの需要が益々高まりつつあるものの、従来から課題となっている人材の確保の他、食材費や光熱費等の高止まり状況が続いており、事業運営上、厳しさが増しております。

このような状況の下、当社グループはコロナ禍が明けて外国人の入国制限が撤廃された後、技能実習生や特定技能外国人の受け入れを進めて介護人材の確保を図りました。また、政府による福祉・介護職員の処遇改善を目的とした補助金制度を活用して加算報酬要件を満たす取り組みを引き続き実施しております。

また、4月から年間休日を108日から120日に増やして従業員の処遇改善を行って人材確保と従業員の士気向上を図り、介護現場でのDX推進を含めた生産性の向上に努めると共に介護事業で従業員の給与体系の見直しを行いました。

さらには、2023年7月31日に長野県岡谷市に所在し、介護事業を営むスマートケアタウン株式会社の全株式を取得し、子会社化いたしました。長野県でも当社グループが事業を行っていない地域での事業展開であり、事業エリアの拡大が図られる他、既存事業所からの距離がある程度近いこと、人員配置の効率化等の相乗効果を見込んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,122百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は401百万円（前年同期比18.2%増）、経常利益は429百万円（前年同期比22.4%増）、親会社株主に帰属する四半期利益は300百万円（前年同期比46.8%増）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当社は経営上の管理区分の見直しを行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、居宅介護支援を「福祉用具事業」から「介護事業」へ移管しております。前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較しております。

(福祉用具事業)

福祉用具事業においては、キャンペーン等の実施によりケアマネジャーや介護施設、病院への訪問活動や地域に根ざしたきめ細やかなお客様への訪問を進めると共に、引き続き前期に開設した小山営業所(栃木県)の営業の強化に努め売上高が順調に増加しており、全体として順調に業績が推移し、増収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の福祉用具事業の売上高は2,148百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は201百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

(介護事業)

介護事業においては、2023年3月に開設した4事業所で利用者様の入居・登録が順調に増加しており、増収に貢献しております。また、2022年11月に子会社化した株式会社シルバーアシストの業績も順調に推移しており、売上高及び利益面で貢献しております。

全体的に食材費や光熱費等のコストの高止まり状況が続き、新設した4事業所の初期投資もありましたが、経費の削減やDX推進を含めた業務の効率化に努め、増収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の介護事業の売上高は2,974百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は199百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態は、次のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ69百万円増加し、9,088百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、4,178百万円となりました。主な要因は、売掛金83百万円の増加によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ10百万円増加し、4,904百万円となりました。主な要因は、のれんの増加10百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ180百万円減少し、5,800百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、2,682百万円となりました。主な要因は、賞与引当金の減少95百万円、未払金等その他の増加129百万円によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ174百万円減少し、3,117百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少200百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ250百万円増加し、3,287百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益300百万円の計上に伴い利益剰余金が増加しております。自己資本比率は前連結会計年度末の33.7%から2.5ポイント増加し36.2%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日公表の予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,366,322 | 2,387,345 |
| 売掛金 | 1,436,891 | 1,519,950 |
| 商品 | 10,606 | 10,725 |
| 貯蔵品 | 14,856 | 14,557 |
| その他 | 290,127 | 246,164 |
| 貸倒引当金 | △69 | △75 |
| 流動資産合計 | 4,118,734 | 4,178,667 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 3,686,312 | 3,576,202 |
| その他（純額） | 573,109 | 692,770 |
| 有形固定資産合計 | 4,259,421 | 4,268,972 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 74,511 | 85,071 |
| その他 | 35,374 | 29,927 |
| 無形固定資産合計 | 109,886 | 114,998 |
| 投資その他の資産 | 524,470 | 520,395 |
| 固定資産合計 | 4,893,778 | 4,904,365 |
| 繰延資産 | | |
| 株式交付費 | 6,542 | 4,914 |
| その他 | - | 335 |
| 繰延資産合計 | 6,542 | 5,249 |
| 資産合計 | 9,019,056 | 9,088,282 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 175,259 | 179,960 |
| 短期借入金 | 700,000 | 700,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 437,970 | 427,512 |
| 未払法人税等 | 212,252 | 177,250 |
| 賞与引当金 | 344,290 | 249,145 |
| その他 | 819,718 | 949,099 |
| 流動負債合計 | 2,689,490 | 2,682,967 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,692,284 | 2,491,835 |
| 退職給付に係る負債 | 23,812 | 19,411 |
| 資産除去債務 | 209,363 | 210,374 |
| その他 | 366,487 | 395,910 |
| 固定負債合計 | 3,291,947 | 3,117,532 |
| 負債合計 | 5,981,438 | 5,800,499 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 496,544 | 496,544 |
| 資本剰余金 | 486,544 | 486,544 |
| 利益剰余金 | 2,049,009 | 2,295,491 |
| 株主資本合計 | 3,032,097 | 3,278,579 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,520 | 9,203 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,520 | 9,203 |
| 純資産合計 | 3,037,618 | 3,287,783 |
| 負債純資産合計 | 9,019,056 | 9,088,282 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 4,766,468 | 5,122,993 |
| 売上原価 | 3,908,660 | 4,243,231 |
| 売上総利益 | 857,808 | 879,761 |
| 販売費及び一般管理費 | 518,540 | 478,619 |
| 営業利益 | 339,267 | 401,142 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 35 | 42 |
| 受取配当金 | 604 | 677 |
| 補助金収入 | 16,677 | 25,672 |
| その他 | 15,639 | 22,189 |
| 営業外収益合計 | 32,956 | 48,580 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 18,809 | 17,585 |
| その他 | 2,630 | 2,708 |
| 営業外費用合計 | 21,439 | 20,294 |
| 経常利益 | 350,784 | 429,429 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 0 | - |
| 子会社株式売却損 | 864 | - |
| 関係会社出資金評価損 | - | 2,176 |
| 特別損失合計 | 864 | 2,176 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 349,920 | 427,252 |
| 法人税等 | 145,515 | 127,250 |
| 四半期純利益 | 204,404 | 300,002 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 204,404 | 300,002 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 204,404 | 300,002 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,396 | 3,682 |
| その他の包括利益合計 | 2,396 | 3,682 |
| 四半期包括利益 | 206,801 | 303,684 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 206,801 | 303,684 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 スマートケアタウン株式会社
 企業の内容 小規模多機能型居宅介護、通所介護

② 企業結合を行った主な理由

当社グループは、今後の成長戦略として事業所の新規開設と共にM&A案件等に取り組むことにより、事業展開エリア及び事業規模を拡大していく方針であります。当社グループは、長野県に本社を含む多くの事業所が所在しておりますが、岡谷市には事業所がなく、同社を当社グループに迎えることにより、事業展開エリアの拡大と近隣の既存事業所の人員配置の効率化等の相乗効果が見込まれることから、企業価値向上に繋がるものと判断いたしました。

③ 企業結合日

2023年7月31日
 なお、2023年9月30日をみなし取得日としております。

④ 企業結合の法定形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2023年9月30日をみなし取得日としているため、当第2四半期連結会計期間は貸借対照表のみ連結しており、当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | |
|-------|--------|---------|
| 取得の対価 | 現金及び預金 | 3,000千円 |
| 取得原価 | | 3,000千円 |

(4) 主な取得費用の内訳及び金額

アドバイザー費用等 1,000千円

(5) 発生したのれんの金額、発生要因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額

18,402千円

② 発生原因

取得原価が企業結合時の時価純資産を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。

③ 償却方法及び償却期間

5年間にわたる定額法